

文学研究科教育学専攻・博士前期課程 専門分野・教員一覧

■教授

棚橋 健治

博士（教育学） ※文学研究科長

主な担当科目 ●教育学研究の方法と倫理 ●社会科教育学特論 ●教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 社会認識教育学分野を専門として、主として教科論、カリキュラム論、授業論、評価論、教師論。様々な社会科学力論に対応した学習評価の実態とその特質・課題から、一教科としての社会科の理念実現過程を研究。また、社会科教師としての教科指導力向上を、教師の社会科授業観を視点として研究。

澤田 英三

修士（文学） ※教育学専攻長

主な担当科目 ●発達心理学特論 ●生徒指導・教育相談、キャリア教育特論

研究内容 人の発達を支える現場に赴き、観察法やインタビュー法などの手法を用いて、現場で発達のからくりや支援の特徴を明らかにする。

深澤 広明

博士（教育学） ※教育学・心理学コース長

主な担当科目 ●教育学特論 ●教育方法学特論 ●教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 主体的に「学びに向かう」態度を生成する「授業システム」の開発に取り組んでいる。「授業づくりと学級づくりの往還」や「教材研究をふまえた小集団活動の組織化」に焦点を当てた「学習集団づくりを志向する授業研究」と連動して研究している。

西 まゆみ

修士（文学） ※臨床心理学コース長

主な担当科目 ●心理実践実習ⅠA～Ⅴ ●臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）

研究内容 芸術療法の一つ、コラージュ療法に関する基礎的研究。二つ折り法の試み。女子大学生にコラージュ療法を行う際、台紙を二つ折にする教示を与えた場合の、通常の方法、平面法との相違に関する研究。

池田 智子

博士（心理学）

主な担当科目 ●教授・学習心理学特論 ●心理学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 取り組んでいる研究テーマは、大学生の学習観、大学生の自己調整学習におけるメタ認知の役割、心理学教育における批判的思考態度の育成、大学生の進路選択・決定過程におけるメタ認知の役割である。

小川 麻里

博士（理学）

主な担当科目 ●理科教育学特論 ●教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 生物の形の進化や環境適応について調べ、その知見をもとに、幼児期の自然体験、小学校生活科での自然や生物に関わる活動、小学校理科（生命・地球分野）での観察・実験など、自然科学の基礎的体験のための教材研究および学習環境整備に関わる研究を行っている。

文学研究科教育学専攻・博士前期課程 専門分野・教員一覧

生塩 詞子 修士（心理学）

主な担当科目 ●臨床心理査定演習Ⅱ ●臨床心理基礎実習Ⅰ・Ⅱ ●心理実践実習ⅠA～V

研究内容 人格検査、特にロールシャッハ・テストやバウム・テストといった投影法検査にみられる情緒指標に関する研究や、子どもや若者の心理的居場所に関する研究などに取り組んでいる。

金坂 弥起 修士（教育心理学）

主な担当科目 ●臨床心理面接特論Ⅱ ●臨床心理学特論Ⅰ ●臨床心理学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 精神科心理臨床における実践的研究、医療領域全般における多職種連携協働、およびそれを体現するための多職種連携教育に向けた方法論の構築などである。

齋藤 大輔 博士（医学）

主な担当科目 ●人格心理学特論 ●心理学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 取り組んでいる研究テーマは、生活環境が日常の行動に及ぼす影響や、子どもの脳の発達に与える影響などについてである。それらに対して、心電図や脳波、脳血流、内分泌などの生理指標を用いて調査をしている。

高垣 耕企 博士（臨床心理学）

主な担当科目 ●臨床心理基礎実習Ⅱ ●臨床心理学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 専門分野は、不安や抑うつに関する認知行動療法である。認知行動療法の中でも、行動活性化に関する基礎研究や介入研究などを行っている。

土井 徹 博士（教育学）

主な担当科目 ●理科教育学特論 ●教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 円滑な学びの接続をめざす小学校・中学校の理科指導方略。近年の研究テーマは、SDGs達成に向けた小・中・高等学校理科のプログラム開発、生物多様性の保全に貢献できる保育士・教員養成プログラムの開発である。

難波 博孝 博士（教育学）

主な担当科目 ●国語教育学特論 ●教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 国語教育学専門。臨床国語教育、ことばと教育などに関心を持っている。

西川 ひろ子 修士（教育学）

主な担当科目 ●幼児教育学特論 ●教育学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 保育・幼児教育学を専門とし、研究テーマは保育者養成、発達障害傾向がある幼児への支援、モンテッソーリ教育法の受容史、保幼小接続カリキュラムの作成と効果、保育の質的向上、幼児のキャラクター志向である。

文学研究科教育学専攻・博士前期課程 専門分野・教員一覧

橋本 正継 修士(教育学)

主な担当科目 ●算数・数学教育学特論 ●教育学特別研究 I～IV

研究内容 算数・数学学習における児童・生徒の数学的理解の過程や算数・数学科授業の構成について実践的研究を行っている。近年は算数・数学学習におけるICT活用方法について注力している。

平本 哲嗣 博士(教育学)

主な担当科目 ●児童英語教育学特論 ●教育学特別研究 I～IV

研究内容 小学校英語教育、ICT利用の英語教育、英語教育政策過程、英語教育史(特に戦後の政策的動向)

藤原 逸樹 博士(教育学)

主な担当科目 ●造形教育学特論 ●教育学特別研究 I～IV

研究内容 幼児の造形教育や児童生徒の図画工作科教育・美術科教育、生涯教育としての美術教育全般について、その内容や方法等の検討を行っている。立体・彫刻の制作を通じた、素材、質量、空間といった三次元的な表現の精神性やメッセージ性の研究を行っている。

藤原 裕弥 博士(学術)

主な担当科目 ●健康心理学特論 ●心理統計法特論 ●心理学特別研究 I～IV

研究内容 不安や抑うつなどの感情に対する情報処理論的アプローチ、表情認知に及ぼす感情の影響、ストレスの生理・心理的影響に関する研究、など

山本 克司 博士(社会福祉学)

主な担当科目 ●犯罪心理学特論

研究内容 法学・人権論と社会福祉の学際領域である権利擁護が研究対象である。特に、認知症高齢者の人権保障、意思決定支援、高齢者虐待防止を研究している。近年は、AIの活用による認知症高齢者の終末期の意思決定支援の研究に取り組んでいる。

山本 文枝 修士(心理学)

主な担当科目 ●臨床心理基礎実習 I ●臨床心理学特別研究 I～IV

研究内容 大学生がグループディスカッションなどの場に参加するためのコミュニケーション能力育成に関する臨床心理学的アプローチの研究に取り組んでいる。

文学研究科教育学専攻・博士前期課程 専門分野・教員一覧

■准教授

五十嵐 亮[※] 博士（心理学）

主な担当科目 ●教育学研究の方法と倫理 ●学校心理学特論

研究内容 教育心理学、教育工学を専門とし、特に授業分析方法の開発や教師の熟達化過程及び教職課程学生の認識変容過程に関する研究、高校生・大学生を対象とした自己調整学習方略の獲得支援に関する研究を行っている。

加登本 仁[※] 博士（教育学）

主な担当科目 ●体育科教育学特論 ●教育学特別研究Ⅰ・Ⅱ

研究内容 体育科教育学及び教師教育学。質的研究法を中心として、体育授業における学習集団の形成に関する研究や小学校教師の体育授業力量形成に関する研究に取り組んでいる。

熊井 将太[※] 博士（教育学）

主な担当科目 ●学校・学級経営論特論 ●教育課程論特論 ●教育方法学特論

研究内容 教育方法学を専門とし、特に、教育方法の思想と歴史に関する研究、「学級で教えるということ」の技術と思想に関する研究、ドイツの教授学に関する研究、「エビデンスに基づく教育」に関する研究などに取り組んでいる。

小畠 由香[※] 修士（保健福祉学）

主な担当科目 ●臨床心理実習ⅠA（心理実践実習ⅠB）・ⅠB（心理実践実習Ⅳ）

研究内容 子ども虐待対応、並びに、虐待予防に資する保護者支援と子どものケアについて、質的研究、実践研究している。

田淵 恵[※] 博士（人間科学）

主な担当科目 ●社会心理学特論 ●心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ

研究内容 社会心理学、生涯発達心理学を専門とし、世代間コミュニケーション、高齢期の次世代に対する利他行動、異世代間相互作用と心理発達について研究している。

長友 洋喜[※] 博士（教育学）

主な担当科目 ●音楽教育学特論 ●教育学特別研究Ⅰ・Ⅱ

研究内容 学校音楽科教育における指導要素の在り方・幼児音楽教育の方法・声楽指導の歴史・音楽教育におけるピアノ伴奏の方法などについて研究している。

文学研究科教育学専攻・博士前期課程 専門分野・教員一覧

西村 聡生 博士（心理学）

主な担当科目 ●心理学研究法特論 ●心理学特別研究Ⅰ～Ⅳ

研究内容 認知心理学を専門とし、特に行為と認知機能の相互作用、身体と空間の表象、認知機能の個人間相互作用について研究している。

※氏名横の「※」は研究指導の補助を示す。